



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
と  
学  
生  
の  
ツ  
ム  
ぐ

第68号

2017年8月27日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

### 夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.47

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、  
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

## 緒方SPシニアと森岡SPシニア

わくわく算数教室が、5年目を迎えています。5年目ということは、過去に4年間、SPとしてこの事業を支えて繋いできてくれた先輩がいるということです。“SPシニア”と呼んでいます。そのうちの二人を紹介します。



緒方さん。彼は縁の下の力持ちです。この事業の良さをよく分かっている、大学2年生のときから参加してくれています。

何でも得意のスーパーマンですが、特に、画像編集が得意です。写真は、わくわく算数教室が終わって子どもが帰るとき。私も記録DVDを作ろうと急いで廊下に出たときです。すでに緒方さんがいたのです。「ここは、記録動画を作る上では欠かせない場面ですから」彼は、編集をイメージしながら様子を撮影しているのです。当然子どもとも最高の笑顔で接します。子どもの様子もす

ごくよく見えています。そして、撮影したものは、すばらしい音楽とメッセージを入れてすぐに編集され、SPさんに見せることとなります。メッセージ性があるので、SPさんも自分の振り返りができ、とてもよい学びとなっています。「今年ほど、こんなに撮影したり編集したりした年はありません」と言っています。大きな大きなわく算のサポーターです。



森岡さん。一宮市で中学校の先生をしています。昨年まで、WSPで大活躍してくれていました。彼は、「わく算」が始まると、メモを片手にぐるぐると見てくれていました。「そのメモ、何？」と聞くと「自分が見せてもらって気付いたことをメモしています。少しでも、SPさんの助けになればと思って…」とことんやさしいシニアです。その後、時間を見つけては、SPさんに気さくに

笑顔で声をかけていました。SPさんたちのことを思っているアドバイスや励まし、談笑。SPさんも、とても笑顔になっていました。SPさんも不安な中でやっている部分もありますので、こういうシニアSPさんの声かけが、嬉しいですよね。

